

会 議 録

会議の名称	第4回白岡市まち・ひと・しごと創生有識者会議
開催日時	平成27年10月27日(火) 18:00~19:40
開催場所	白岡市保健福祉総合センター(はぴすしらおか)会議室6・7
委員長等	委員長 佐々木 操 副委員長 熊坂敏彦
出席者(出席委員)の氏名・出席者数	熊坂敏彦、中村輝久、五十嵐泰子、西村恵子、佐々木 操、高橋道禎、佐藤弘子、島村 隆、安藤貴徳、橋本正秀、石塚昭仁、岩上陽子 ※出席者: 12名
欠席者(欠席委員)の氏名・欠席者数	大橋 登、小林伸子、高橋純悦、細井宣雄 ※欠席者: 4名
説明員の職・氏名	企画政策課創生戦略室 室長 白田 進、主幹 千葉智則、主査 濱田貴央
事務局職員の職・氏名	企画政策課長 八木橋昌美 企画政策課創生戦略室 室長 白田 進、主幹 千葉智則、主査 濱田貴央
その他会議出席者の職・氏名	白岡市 副市長 秋葉清一郎、総合政策部長 笠原英之 株)ジャパンイターナショナル総合研究所 竹澤慎太郎
傍聴者数	6人
会議次第	別添のとおり
配布資料	資料1 白岡市人口ビジョン(修正骨子案) 資料2 白岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略(骨子案)

(会議の経過)

発言者	発言内容・決定事項等
委員長 副市長	1 開会 2 あいさつ ～ 佐々木委員長より挨拶 ～ ～ 秋葉副市長より挨拶 ～
事務局	(会議の公開について説明)
委員長	次第3の(1)「白岡市人口ビジョン(修正骨子案)について」、事務局より説明をお願いします。
事務局	3 議題 (1) 白岡市人口ビジョン(修正骨子案)について (資料1に基づいて説明)
委員長	ただ今の説明について、ご意見、ご質問等がありましたらお願いします。
○委員	非常に分かりやすい資料になり、ありがとうございました。 18 ページの「今後の基本的視点」の1番と3番はまだ納得感がありませんが、フレームの話ですし、他の委員さんは疑問視していないようなので、後で、個人的にどうしてこうなったのかをお聞かせいただいで、私だったらこうするという話もさせていただきたいと思いますがよろしいですか。 2つ目に、この3つの策はどれくらいの期間でやるのか、またどういうことをやっていくのかが見えた上での案なのか、それは今後考えるのかをお聞かせいただきたいと思います。
事務局	まず、1番と3番についてのご提案はこの後承ります。 人口ビジョンが平成27年までの計画期間なので、この取組みの期間は平成27年までを想定しています。具体的に実施する内容は、5年間について総合戦略の中で示していくことになっています。
N委員	1回目の会議で、策定の日付は和暦と伺いましたが、資料に「平成27年」という数字が出ていて、現実的な和暦ではないと思いますので、西暦に直す勘案をしていただければと思います。45年後の白岡を目標として持つのは結構ですが、今の市役所の方や委員が、45年後に自分たちが45年前に作ったものを果たして見届けられているのだろうか、ただのお題目になってしまうのではないかと思います。

(会議の経過)

事務局	<p>当初の資料では西暦と和暦を併せてお示ししていましたが、特に創生本部会議で、どちらかに統一したほうがいい、文章の中で平成 72 年より前の日付もあるので和暦のほうが見やすいという意見がありました。年号が変わるのではないかと意見もありましたが、年号が変わった時点で修正することもできるので、和暦に統一させていただいた経緯がございます。</p>
N 委員	<p>もしそのまま使うのならば、45 年後は、「平成 72 年（仮称）」と書いていただくことはできませんか。</p>
事務局	<p>年号が変わるとするのは天皇陛下がお亡くなりになるということです。（仮称）とすると、それを想定してということになり難しいのでご勘弁ください。</p>
E 委員	<p>財政がとても難しい問題になってくると思います。今年度要望している中でも、図書館は生涯学習施設ということでかなりお金が出るので、その辺も考えた上で案なのでしょうか。</p>
事務局	<p>人口ビジョンの中の取組みは、人口を増やすための施策といいながら、多岐にわたってお金のかかることも書いています。市としては、45 年後の平成 72 年に 4 万 6,000 人を確保したいという強い意図があり、そのために必要なことをお示ししています。この中に網羅されている事業を、今後 45 年で極力やっていかなければなりません、その中で財源も含めて実際に実施する事業については、総合戦略で 1 年ごとに皆さんに検証していただきながら、5 年の計画期間が終わったら策定し直して、財源を見極めながら事業を進めていきたいと考えています。</p>
熊坂副委員長	<p>全体としてはよく修正していただいています。</p> <p>細かな点ですが、1 ページの「必要な行政サービスが受けられなくなる」は表現として強いので、「恐れがある」くらいのほうがいいと思います。</p> <p>3 ページの下から 2 段目は、「高齢者人口割合（高齢化率）」が主語ですが、その後の文章が分かりにくいので、右のページの「年齢 3 区別人口比率の推移」のように、何年は何%、何年は何%と構成比を並べて、最後に 21.1%になると書いたほうが読み手は分かりやすいと思います。</p> <p>19 ページの定住促進のところで、白岡市らしい地域産業政策はすごく大事になると思います。白岡市の 5 年後の産業政策が目指すべきところとして、梨産業は第 6 次産業化が大事だと思いますし、白岡市の場合はベッドタウンなので、新しいサービス業、福祉関連産業の育成や創業支援があったほうがいいと思います。白岡市らしい将来的な産業は何か、皆さんのご意見を聞いてみたいと思います。</p> <p>21 ページの「若者の転出の抑制」で、分かりやすいキャッチコピーを付けていただきましたが、「(1) 住みやすさの実感」と「(2) 市民の参画意欲の向上」と若者流出が、ストレートに結び付いていないと思います。若者流出はどこのまちでもあって、気にするような人口流出ではありません。それより 30 代～40 代の子</p>

(会議の経過)

	<p>育て世代を引っ張ってくるほうが社会増に効果的でいいと思います。白岡は、東京やさいたま市に近いベッドタウンなので、他のベッドタウンより、高校を卒業した若者や大学に通う若者を引き留めておく施策は大事です。</p> <p>(1)に「飲食店や娯楽施設の誘致を図る」と書いてありますが、せっかく「若者転出の抑制」という具体的なキャッチフレーズが出ているので、(3)で若者を引き留める具体的な施策を書いてもいいかなという感想です。</p>
事務局	検討して修正します。
H委員	18ページの「今後の基本的視点」の「1 安心・快適に暮らせるまちづくり」で、(1)、(2)は快適を表していますが、安心に対する書き方がないと思います。(3)も安心についてではなく、「不足」という弱い言葉が出てきて希望が持てない感じで、目標にするにはポイントが外れていて分かりづらいと思います。また、3番目に「若者」という言葉は入っている割に「若者」という意識が抜けている気がしますので、この2点は書きぶりを変えたほうがいいと思います。
事務局	検討して修正します。
委員長	他にございますか。よろしいですか。 この人口ビジョンの修正案について、本日頂きましたご意見を踏まえて修正し、最終案ということで決めさせていただいてよろしいでしょうか。
委員	(「異議なし」の声あり)
委員長	それでは、白岡市人口ビジョンについては、最終案ということで決めさせていただきます。 それでは、議題(2)「白岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略(骨子案)について」、事務局より説明をお願いいたします。
事務局	(2) 白岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略(骨子案)について (当日配付資料、資料2について説明)
委員長	ただ今の説明について、ご意見、ご質問等がありましたらお願いします。
J委員	基本的施策や方向性が決まって具体的な事業や取組みも書いてありますが、財源も限られていると思いますので、優先順位を付けて取り組むことが必要だと感じますし、PDCAを繰り返しながら取り組んでいくしかないと感じています。その中で、銀行と連携協力しながら取り組んでいけることがたくさんあると感じますので、今後、具体的に取り組むときには、銀行は全面的に協力しながらやっ

(会議の経過)

	<p>ていきたいと思えます。</p> <p>特産品の販路開拓事業と書いてありますので、この場をお借りしてお話しますと、うちの銀行は県と提携して「農と食の展示商談会」を定期的に開催しています。農産品や特産品や加工品を出展する企業がたくさんあるので、白岡市もこういうところに出すと、特産品のアピールにもつながりますし、6次産業化にも波及するのではないかと思います。2月の開催なので、まだ展示も可能ですし、バイヤーもたくさん来るので、いろいろな形でメリットがあると思えます。身近に興味がある方がおられたらお声かけいただければと思えます。</p> <p>1点目の財政関係の話については、今後、原課との調整、有識者会議のご意見を基に、事業等の追加をしたいと思えます。</p> <p>事業の計画期間は今年を含めて5年間ですが、初年度から一度に始めるわけではなく、優先順位を付けて順次実施していきたいと考えています。</p> <p>銀行との連携につきましては、個別にご相談させていただきたいと思えます。</p> <p>商工会も市役所や埼玉県のご支援を頂きながら、今後、さらに支持をいただけるような商品を開発して、その商品を見たら白岡だというふうに想起していただけるような特産品ができるようにしたいと思えますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>役場の業務の中では取り入れてやりづらいといわれる目標数値や、このくらいお金を投下してどのくらい利益が還元されているのかを測る指数を例に取って、物事をやろうとする意気込みを文章から感じました。</p> <p>課が重複しているところもあれば、いろいろな課の事業が基本政策のお題目の中に入っている感じなので、これを機会に全部の市の課が、1つのお題目を選んで企画政策課の方がまとめて、課ごとにこういうプロモーションをしますという一体感を出せば、より市民に訴求できるのではないかと思います。</p> <p>また、KPIを使うのであれば、なぜ達成できなかった、何が足りなかったのかを数値で見ることによって、本来、行政の中で市民に気付かされる面が分かると思えます。課で目標を出して市民に提案できればと思えますがいかがですか。</p> <p>N委員がおっしゃるとおり、今、各課から総合戦略に位置付けるべき提案を募っています。その際にはKPIを設定して、達成できなかった理由をこの会議の場で説明をしていくというシステムを取りたいと考えています。</p> <p>全課でということですが、総合戦略、人口ビジョンとも関係する課と関係しない課がありますので、福祉部門、企画部門、都市整備部門等の関係課から、KPIを調整して位置付けていきたいと思えます。</p> <p>企業誘致で法人を呼ぶ、今ある会社に就職をさせる、産業をよくしてそこに就職させるというように、市内で就職してもらうということが前提のことが書かれ</p>
--	---

(会議の経過)

	<p>ていますが、大宮辺りにたくさん就職先があるので、駅から15分、電車で1本であれば、若い人はそういうところに就職したいというのがあると思います。近くの大きな都市に就職先があるけれど、そこはごみごみして小さいマンションに住むのに対し、白岡であれば、自然もあって、一戸建ても持てるというように差別化をする。就職先は、大宮や久喜市などの近くの都市や車で15分で通える春日部まで広げて、でも住むには白岡ということをやっていくといいと思います。</p>
事務局	<p>この総合戦略、人口ビジョンにつきましては、国の求めでは産官学間連携という中で、利根地域振興センター管内でも連携は積極的にやられていて、久喜市など、大きな範囲になっていますし、さいたま市にもたくさんの就職先がありますので、他市との連携も検討して位置付けることができれば位置付けていきたいと考えています。</p>
L委員	<p>国の総合戦略の基本目標4で、地域と地域を連携するということがありますので、先ほど言われたような視点でしてもらえればいいと思います。</p> <p>都内や違う所に住んでいる方が、定住したいとか住みたいと考えるときに、通勤時間や何キロ圏内ということで考える方が多いと思います。都内勤めの方は蓮田や久喜も同じような感じで考えられる場所なので、例えば、戦略の中の定住促進の部分は、蓮田市や久喜市と連携してサービスができればいいと思います。他市が絡むので、戦略にどこまで書けるか難しいところもあるとは思いますが、そういう事業が出てくればいいと思います。</p>
事務局	<p>事業として挙げられるかどうかは分かりませんが、文章に入れたいと思います。</p> <p>雇用の面では、今、地域振興課がハローワークと連携して、白岡市内の働きたい人と企業のマッチングをする就業支援という事業もやっていますので、それも含めて、総合戦略の中に雇用についてももしっかり記述したいと考えています。</p>
D委員	<p>母子愛育会としては、この前のアンケートでの妊娠に対してすごく不安があるということもいつも考えていて、妊娠、出産、子育てに関わるいろいろなことの前に、妊娠はそんなに怖くないことだという話を若い人たちにできれば、皆さんが不安なく妊娠して出産できるのではないかと思います。アンケートからも妊娠の段階がすごく大事だと思いましたので、それが入っていればいいと思います。</p>
事務局	<p>妊娠の関係事業につきましては、健康増進課と調整しながら、反映できる部分は盛り込んでいきたいと思っています。</p>
K委員	<p>13ページの上から5行目に「市民の市に対する愛情」という表現がありますが、市全体を示すのなら、「愛着」のほうがいいと思います。</p>
事務局	<p>文言の整理をさせていただきます。</p>

(会議の経過)

K委員	題名が「愛情」で、真ん中が「愛情」で、基本施策4-2は「愛着」になっていて、文章として3つが合わないと思います。
事務局	その辺も含めて文言の整理をさせていただきます。
委員長	他に、表現についてご意見はございますか。
K委員	「若い人」という言い方をしていますが、国は「若者」とはっきり位置付けています。例えば12ページに「産業基盤の整備を進めることで若い人や女性の雇用」とありますが、ワーク・ライフ・バランスも「若者」という表現をしています。
事務局	その辺も含めて、文言の整理をさせていただきます。
M委員	KPIは、項目ごと1年ごとに精査して表を作ってはどうかと思います。
事務局	毎年、事業の優先順位や1年間での進捗状況など、総合戦略の成果については表のような形で分かりやすく工夫して有識者会議で報告したいと考えています。
委員長	他にご意見等はございますか。よろしいですか。 ないようですので、次の議事に進みます。議事(3)「その他」について、事務局から何かございますか。
委員長	(3) その他 事務局からはありません。 委員の皆さまから、全般についてご意見、ご質問はございますか。 ないようですので、本日の議事は全て終了しました。
事務局	事務連絡をいたします。 次回、第5回まち・ひと・しごと創生有識者会議は、11月24日火曜日、午後6時からはぴすらおか会議室6・7で開催予定です。 詳細は後日郵送で通知いたしますのでご確認をお願いします。
熊坂副委員長	4 閉会 ～ 熊坂副委員長より挨拶 ～

以上